



議会だより



▲中央リサイクルセンター（榎列上幡多）



▲リサイクルセンター内部



▲クア施設「さんゆ〜館」

文教厚生常任委員会の管内視察

2月19日、文教厚生常任委員会では、所管事務調査として管内視察を行いました。行き先は、中央リサイクルセンター、さんゆ〜館、大鳴門橋記念館など。

（20頁に関連記事）

主な内容

3月議会定例会の報告	P 2～5
各委員会の報告	P 6～11
代表質問・個人質問	P 12～18

第24回 市議会定例会の報告

第24回南あわじ市議会定例会が2月27日から3月30日まで行われました。

今議会では冒頭に市長の施政方針表明が行われ、平成21年度の予算などをはじめとする執行部から議案57件、専決処分2件、意見書2件、川野副市長の選任同意などの同意案件5件など議案68件が提案され、すべて可決、承認、同意となりました。

兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議長が辞任。選挙の結果、森田宏昭議長が再選されました。

提出されていた請願2件も可決され、それぞれ意見書が提出されています(4〜5頁参照)。

また、最終日に議長が辞任。選挙の結果、森田宏昭議長が再選されました。

兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議

平成21年度

一般会計・特別会計予算など 議案68件、すべて可決

21年度予算の概要

一般会計

平成21年度一般会計予算は、総額で234億6500万円前年度比マイナス5億3000万円、特別会計では236億8036万4千円対前年度プラス12億8246万9千円の規模となっています。

政府の経済対策などもあり、土木関連予算は前年度からの繰り越しも入れ、ほぼ前年並みの事業が行われる計画です。

環境対策として、中央リサイクルセンターの稼働により廃プラスチックなどの分別がいつそう進められます。農業分野でも鳥獣害対策や、優良堆肥助成など増額されています。

業振興でも補助事業の継続、農商工連携などの新規事業なども行われます。

その反面、介護保険料の大幅な引き上げ、福祉医療の自己負担の増加、大型ゴミの有料化など、市民負担も増えた予算となっています。

財政悪化

実質公債費比率は昨年の19.9%から20.7%（見込み）となり悪化しています。市民負担を上げず、市民サービス維持、財政改善のいっそうの努力が求められています。

反対討論

本定例会で、討論がありましたので、内容をお知らせします。

■平成21年度一般会計 予算について

吉田 良子

急速な経済の悪化を反映して、税収入が減少しています。無駄な事業を見直し、市民の暮らし応援が必要です。しかし、太陽光発電助成、奨学金制度、障害者支援等で不十分であり、建設予定の人形会館での互使用が明言されていませんでした。また、情報公開などの市民参加が不十分であります。

■国民健康保険特別会計 予算について

吉田 良子

国民健康保険税の値上げが予定されていますが、市民の所得は落ち込んでおります。払いたくても払えない人が増え、滞納世帯の増加が心配されます。滞納者の実態を見極めた減免制度が必要ですが、不十分であります。

■後期高齢者医療特別会計 予算について

吉田 良子

後期高齢者医療制度は、年金天引きの制度が是正されたものの高齢者を差別し、矛盾の多い制度で抜本的な見直しがされていません。検診料の負担も増えて

おり、資格証明書の発行など問題山積の後期高齢者医療制度は廃止するべきです。



■介護保険特別会計 算について

吉田 良子

介護保険制度は充足10年を迎えますが、必要なサービスが増えるほど高齢者には厳しい負担増につながります。今回保険料が月額3250円から3900円に引き上げられます。国や市の支援がもっと必要です。介護認定方式もあらためるべきで

す。増やさずにすみませす。

■産業廃棄物最終処分 事業特別会計予算に ついて

蛭子 智彦

産業廃棄物の処分では、アスベスト混入物の取り扱い基準が不明確です。働くもの、近隣住民の不安を取り除く手だてをもっととるべきです。

■介護保険条例の一部 を改正する条例制定 について

蛭子 智彦

所得区分は細分化し、低所得者に配慮したものとなっています。しかし、保険料を大幅に引き上げています。基金取り崩し、一般会計からの支出などで、高齢者にいっそうの配慮が必要です。

く、負担は高くでは合併時の約束とかけ離れたものとなります。執行部はいっそうの努力が必要です。

■淡路地域の高校教育 の充実を求める意見 書について

原口 育大

意見書案では、優先項目として淡路市の2つの分校の廃止見直しを挙げているが、淡路学区の公立高校開門率は約80%であるのに、南あわじ市は格段に低い54%にとどまっている。

■福祉医療費助成条例 の一部を改正する 条例制定について

蛭子 智彦

対象者を増やしたことは評価できますが、一部負担金も増やしています。県の無謀な開発による赤字の付けを障害者等の弱者に押しつけることは許されません。300万円程度の財源があれば負担を

■廃棄物処理手数料徴 収条例の一部を改正 する条例制定につい て

蛭子 智彦

大型ゴミの持ち込みを原則有料化としています。これまで、高齢者や、障害者に配慮してきた軒先収集を廃止します。サービスは低

南あわじ市議会は、淡路3市の公立高校開門率バランスを勘案し、市民の願いである淡路三原高校の定員増を第一に求めるべきである。

請願2件、賛成多数で採択

「淡路の高校教育の充実を求める請願書」

「自主共済制度を保険業法の適用除外とすることを求める請願書」

「淡路の高校教育の充実を求める請願書」

実を求める請願書」

自主共済を廃止したり、解散するなど公益性の強い団体の不利益が増えていることから、その改善を求めるものです。

それぞれ、文教厚生常任委員会に付託され、参考人として、請願者の出席を求め、審査が行われました。

「淡路の高校教育の充実を求める請願書」は委員会です。見書が提出されました。

員会、本会議とも賛成多数で採択され、関係機関に意見書が提出されました。

少人数学級を実施して、生徒数減少を理由とした淡路の高校の学級減を行わず、地域に根ざした学校として存続・発展させること。特に、淡路高等学校一宮校と洲本実業高等学校東浦校の生徒募集を、平成22年度に再開することを求めた請願です。

「自主共済制度を保険業法の適用除外とすることを求める請願書」

保険業法の改正により、障害者やPTAなどで結成している共済が規制となり、

「自主共済制度を保険業法の適用除外とすることを求める請願書」は委



▲県立淡路三原高校

文教厚生常任委員会での

主な質疑

「淡路の高校教育の充実を求める請願書」について

問 この請願は、淡路全体のことを考えているのですか。

答 請願者の会の規約は

問 請願者の会の規約は

答 淡路の高等学校の教育をどうしようかという視点で考え、分校の廃止は、淡路の高校教育の低下を招く、よりよい淡路の将来の高校教育を考えてのことで

問 開門率が南あわじは

答 開門率が南あわじは極端に低い。どう考えますか。

問 通学費の問題、開門率の問題、淡路全体のよりよい展望を見つけていきたいと思っ

答 前回、南あ

わじて3万4286筆の署名が集まった運動にもつながるようなものに発展させていきたい。

問 請願者の会の規約は

答 どうなっていますか。中学校のPTAが賛同者に入っていませんが、規約はありません。賛同者の運動で行っています。中学PTAは署名スタートの時期が、進路指導と重なり、いらぬ混乱を来さないため、賛同者からはずれています。



「淡路の高校教育の

充実を求める意見書」

■意見書提出先

兵庫県知事
兵庫県教育長
兵庫県教育委員長
兵庫県議会議長

■要旨

平成21年より生徒減少により淡路地域の県立高校2分校が募集停止になった。淡路島内の県立高校は地域になくはならない存在である。島内全体をみれば、高等学校は足りており、遠距離通学などの負担は大きく、地域の学校が廃校になればその地域の活力やにぎわいが失われる。南あわじ市では三原高校と志知高校が統合され、淡

路三原高校が唯一の高校となったものの、市内に住む高校生の半数は遠距離通学を余儀なくされている。都市部と過疎地の格差を抑え地域に根ざした学校の存続は淡路地域の活性化に必要である。

以上のことから淡路三原高校の定員数を大幅に増やすとともに、小規模であっても特色ある2分校の廃止を見直すこと。また、県立高校の問題は教育だけの問題でなく、過疎地域の活性化であることから、少人数学級を実現するなどして、地域に根ざした学校を存続するよう強く要望する。

「自主共済制度の保険業法の

適用見直しを求める意見書」

■意見書提出先

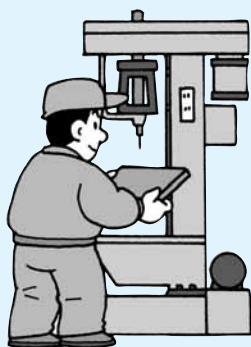
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣
内閣府特命担当大臣
(金融担当)
金融庁長官

■要旨

平成18年4月に施行された「保険業法の一部を改正する法律」によって、知的障害者やPTAなどの団体が運営してきた自主共済制度が存続を危ぶまれている。法改正は「ニセ共済」を取り締まるものであるが、健全な運営を行ってきた仲間

同士を助け合う民間の善意の共済制度をも規制するものとなっている。

利益を追求する民間保険事業と同列視されることになった「保険業法」による規制を改正し、自主共済を保険業法の適用除外とし、民間の小さな善意の集まりである共済制度として存続できるように要望する。



一般会計

歳入

■固定資産税

問 市民税、個人・法人共に減額となっているが、固定資産税のみ増額となっているが。

答 固定資産税のうち、土地については、下落傾向にあり減額、家屋についても、大きな伸びが期待できない。償

■地域雇用創出推進費

問 地域雇用創出推進費として地方交付税にいくら含まれているか。また、市としてはどのような取り組みをされているのか。

答 約2億4000万円算入されている。名目は、雇用創出推進で

■合併特例債

問 合併特例債の今後の見通しは。

答 合併当初、合併後10年で建設に係るもの180億円予定していたが、今の財政計画上では12.1億円。計画を見直し、中央市民ホールなどをはずし、新たに人形会館建設などを計画しており

却資産で、ここ1・2年大規模な新規投資があり、増額を見込んでいる。

あるので、緊急雇用対策費、企業誘致の奨励金、公共関連投資などに幅広く充当。

■入湯税

問 土・日・祝祭日の高速道路料金の値下げにより、入湯税の増収を見込んでいると思うが、対象業者の数は。

答 現在31業者です。

歳出

■国家資格取得補助金

問 職員の国家資格取得補助金について、今まで何人、どんな資格を取得したか。

答 19年度は4人、20年度は5人で、CATV・危険物取り扱い・情報処理・介護福祉士・ケアマネージャーなど。

■子育て学習センター

問 子育て学習センターは旧町毎の4か所で行っているが、将来的に1か所にまとめるのか。

答 拠点のセンター型

▶温泉施設「さんゆ〜館」



▶子育て学習センター



に人形会館建設などを計画しており、新たな人形会館建設などを計画しており、新たな人形会館建設などを計画して

予算審査特別委員会

- | | |
|-------|--------|
| 委員長 | 木曾 弘美 |
| 副委員長 | 島田 貞洋 |
| 廣内 孝次 | 出田 裕重 |
| 吉田 良子 | 蛭子 智彦 |
| 武田 昌起 | 眞野 正治 |
| 原口 育大 | 印部 久信 |
| 阿部 計一 | 川上 命 |
| 乙井 勝次 | 中村 三千雄 |
| 楠 和廣 | 蓮池 洋美 |
| 長船 吉博 | 沖 弘行 |

■小児救急

問 昨年からはじめた、小児夜間救急診療業務委託料は、すべて一般財源であり高額であるが、子育て安心のためにかかせない事業だと思いが、国、県への支援の要請は出来ないのか。

答 今の施設を継続する上で、専門業者に調

予算審査特別委員会の審査

問 第1次救急医療は市町村の義務であり、医師会の協力を得て行っている。県民局、県病、医師会と3市で検討は行っていく。

■耕作放棄田

問 耕作放棄田保全事業補助金が40万円計上されているが、他に予算は。

答 農地・水・環境保全事業、中山間事業、緊急対策事業でも実施している。また、21年度より農地バンクを立ち上げ、農・商・工連携して推進していく。

■有害鳥獣対策

問 鳥獣対策関係の予算が昨年度より36万円減額になっている理由は。

答 今年は協議会を設置し、国の補助金を申請し、フェンス設置工事約5km予定しており、事業費1200万円で、

国が1/4地元1/4市が1/4で300万円計上している。

■淡路瓦

問 淡路瓦屋根工事補助金は、住居部分が50%以上でない補助の対象にならないが、総額が同じなら補助額を下げてでも、住居以外にも対象を広げるべきだと思ふが。

答 予算額を上回る程の利用がある。今後、予算の金額も合わせて検討したい。

■淡路島観光圏

問 国から認定された淡路島観光圏についての特典は。また、市政方針で言う、宝船南あわじ市を大々的に売り出すための予算はどこに計上しているか。

答 関連する事業団体、観光協会等に対して、色んな事業での補助金がある。高速道路料金が

の値引きを利用した、大型観光キャンペーン推進、観光圏事業、そして、淡路島が一本になり、また、徳島県とも連携して推進していく。

■企業誘致

問 企業等誘致奨励金、昨年と比べると約2倍である。新規就労は何人想定して予算を計上しているか。

答 三洋エナジー南淡(株)三原工場の雇用で170名程度を想定。うち市内から100名位を想定している。

■幼稚園

問 幼稚園の園児数と教諭数は、また統合の考えは。

答 公立幼稚園6園の園児数が125名、教諭は園長と臨時教諭を含め22名です。小規模化してきたことにおいて、旧町時代に統合を考えた経緯もある。今回、庁舎等公共施設整



▲淡路島牧場の玉葱収穫体験



▲三洋エナジー南淡(株)三原工場

人当り10万円計上している。

備検討委員会で答申も出ている。それに従い、幼・保・小中を含め検討を行っていく。

附帯決議

瓦屋根構造での人形会館建設を要望

平成21年度当初予算において、人形会館建設工事費として4000万円計上されているが、地場産業である日本瓦屋根構造で施工されるよう要望するものです。

特別会計

● 後期高齢者医療特別会計予算

問 20年度補正で保険料が4600万円減額、今回当初予算で昨年より減額、これは制度の変更で均等割などの減額が反映しているのか。

答 昨年10月時点での被保険者の調定額、その所得割等を勘案し、被保険者数を8300人と見込んで計上。昨年当初と比較しても色々と軽減等もある。その反面被保険者数も増えており減額となっている。

● 介護保険特別会計予算

問 昨年度より総額で2億4000万円の増額、平成12年から始まり3年に1回の見直し、本年度が見直しの時期ですが、大幅に変わる

部分は。
答 介護保険料の見直しを行っている。平成21年度から23年度の3年間で3250円を3900円に増額。介護従事者の処遇を向上するため介護報酬3%の改定。要介護認定が新しいシステムで4月から運用。介護サービスの事業所の不正防止の法律が施行。介護保険療養病床が老人保健施設へ転換などが平成21年度以降の大きな改正である。

● 土地開発事業特別会計予算

問 幹旋手数料について説明を。
答 宅建業者の免許を持っておられる方から紹介があり、土地所有権が移転した時点で幹



▲特別養護老人ホーム「すいせんホーム」(賀集)

旋手数料の支払いとなります。手数料は1億2000万円以下で3%、1億2000万円超で2%です。

● 産業廃棄物最終処分事業特別会計予算

問 投資手数料で瓦のみ格安に設定されている。合併後、地元の零細企業が多い中、その業者が持ち込む産業廃棄物との差が大きい。



▲下水道処理場(広田)

再考すべきでは。
答 建設当時の経緯もあります。瓦は特別安くしていますが、他の土砂等も安く設定している。今後、新しい廃棄物の計画も必要で、経済状況にもよりますが、その時には考える。

● 水道事業会計予算

問 本土導水購入もあり厳しい予算計上だが、統合に向けての課題は、

第1には水道料金の格差だと思う。洲本市はこの6月に値上げする。当市はしないという確認を。

答 可能な限り経営努力をしながら基本的には統合するまで改定しないと今までも答弁してきた。統合時の課題は水道料金だと思おうので充分協議を重ねたい。



▲産業廃棄物最終処分場(伊加利)

● 下水道事業会計予算

問 24施設のうち、松帆・湊を除く23施設が供用開始しているが、加入率及び今後の加入促進の取り組みは。
答 2月末の接続率で55・4%です。未接続の理由として新築及びリフォーム計画の関係、また経済的困難、年金暮らし、特に昨年度よりも経済情勢が不透明で接続率が伸びていない状況。

総務常任委員会の審査

20年度
一般会計補正予算

■陸の港西淡駐車場

問 陸の港西淡駐車場
拡張工事費624万8
000円の増額につい
て、拡張規模と管理体
制は。

答 用地買収を行なわ
ず工夫により32台分の
駐車スペースを増やす。



▲陸の港西淡駐車場。手前芝生部分を駐車場に拡張

管理体制については、
担当職員が適宜見回り
を行い、移動を促して
いる。また、慢性的な
満車状態については、
拡張後の様子を見なが
ら検討を行う。

■バイオマス

問 バイオマスフロ
ンティア事業の委託料及
び工事請負費の内容は。

答 当初の補助金を減
額して、新たに地域活
性化・生活対策臨時交
付金で計上した。今回
は、国の交付金事業の
ため、市の負担がない
ので分担金もない。
また、委託料につい
ては活用変更計画書
作成と機能強化設計の
ための計上で、工事請
負費は北阿万センター

が脱水機と廃食油パー
ナー設置で約1940
万円、神代センターが
脱水機設置で約200
0万円、賀集センター
がベルトコンベヤー等
改造で約550万円、
八木センターが機能強
化のための改造に約7
50万円。
なお、試験運転の結
果、1トン当たりの処



▲淡路人形浄瑠璃 傾城阿波鳴門 順礼唄の段

理経費が1万5000
円となり機能強化工事
が済めば、未払いの分
担金は収めてもらえる
と思っている。

■淡路人形会館

問 淡路人形会館建設
基金積立金6200万
円計上について、用地
は確定したか。

答 県及び地域との最



▲市道榎列81号線、おのころ島神社付近

最終的な合意は若干残っ
ているが、そういう方
向で進めて行きたい。
また、淡路瓦使用につ
いては地域から要望が
あったことは聞いている
が、瓦をどういう形
で使うか、詳細につい
てはまだ決まっていな
い。

■道路

問 国からの地域活性
化・生活対策臨時交付
金による道路新設改良
事業費について、優先
順位と、どれくらいカ
バーできるのか。

答 今回の事業でいく
らかは前倒しで事業が
出来るが、カバーでき
るという状態ではない。
優先順位については用
地の関係があるので、
地元の熟度と、緊急性
で判断する。今回の補
正は、景気対策という
ことですので工事に
かかるものについて対
応する。

● **手数料条例の一部を改正する条例制定について**

問 住民基本台帳カードの交付手数料は、顔写真の入ったものといもの、どちらも無料になるのか。

答 どちらも2年間無料になる。なお、顔写真入りカード作成の場合、申請時に写真を持参しなければならない。

問 カードの普及が進んでいない要因は。

答 カードを利用する機会が少ないことが要因であるが、防災課としては、今後、避難所における本人確認が可能となるため、自主防災組織に働きかけ普及を図りたい。

● **国民健康保険特別会計予算**

問 財政調整交付金が3503万円の大きな減額となった理由は。

答 2月に国のヒヤリングを受けての確定見込み額を計上しており、当初の給付費等の見込みが充分でなかったため。

● **後期高齢者医療特別会計予算**

問 保険料の特別徴収と普通徴収での増減の理由は。

答 特別徴収から普通徴収へ変更のための増減である。

● **介護保険特別会計予算**

問 地域支援事業については1854万円の2割もの減額補正を行っており、事業が充分に行われていなかったのではないか。

答 減額の主な内容は、生活機能評価の約400万円と食の自立支援事業800万円で、参加者及び対象者が予定より少なかった等の理由による。

● **福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定について**

問 今の時期に負担額を引き上げる理由は。

答 県の行財政構造改革の一環として医療費の助成制度が見直されたことにより、市においても条例改正を行う。

● **介護従事者処遇改善臨時特例基金条例制定について**

問 従事者の処遇改善ということでは賃金に関わってくるのか。

答 介護報酬は施設が従事者の内容によって受け取る金額が増える。従事者への配分は、施設側の考え方になる。

● **廃棄物処理手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について**

問 連合自治会から無料の継続要望があったと思うが。

答 要望があり、数回の協議を行い有料化についての理解をいただいた。

● **リサイクルセンター条例の一部を改正する条例制定について**

問 三原リサイクルセンターは、当初廃止することになっていたのではないか。

答 当初は廃止であったが、侵入道路に架かっている橋が、平成16年の災害で補助事業によ

る復旧工事を行なっているため、廃止は問題があると県の指導があった。連合自治会から持ち込み場所確保の要望があり、三原リサイクルセンターを利用することにより目的が達成できるため、残すことで進めている。



▲ホームヘルパーによる介護サービス



▲三原リサイクルセンター（神代）

産業建設常任委員会の審査



▲市営住宅しづおり第2団地



▲南あわじ市サイクリングターミナル



▲捕獲されたイノシシ

●市営住宅条例の一部を改正する条例制定について

●市営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例制定について

問 暴力団員の認定をどのように行なうのか。
答 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第1項

第6号に基づき県警が暴力団の指定をしている。今回の条例改正で、入居申込み時に暴力団員でないことを誓約する事になり、疑わしい場合は市から県警へ照会し認定してもらおう。

問 暴力団と判明した場合、居住権等で明け渡し請求が難しいのではないか。
答 警察と調整をしながら対応する。条例に規定がないと対応が出来ないため、条例を改正して規定する。

問 暴力団員の入居を断る一番の要因は。
答 違法または不当な暴力団員活動により収入を得ている確率が極めて高い。公営住宅には所得制限があるが、活動で得た所得の申告が正当であるかどうか

解からないため排除とすることになる。

問 サイクリングターミナル特別会計予算
宿泊施設使用料900万円、食堂収入800万円の減額補正について、指定管理者制度移行の計画があったにもかかわらず、なぜ当初予算に反映できなかったのか。

問 農業共済事業に係る事務費の賦課総額及び賦課単価について

問 厨房設備の入れ替えを予定していなかったため。また営業努力をし、業績を伸ばすと期待の数字を含んで予算編成を行なったため。

問 反との関連は。
答 災害があった場合は共済金額の7割までを補償し、農家の安定経営に資する。また、共済は作付け面積に対しての共済金であり、減反に関係なく被害があった場合も支払う。

問 事務費は補助金6900万円と賦課金で賄っており、事務費の足らずについては賦課金で調整を行うのか。
答 賦課金は県下の賦課単価、賦課総額を勘案して決めている。今年の予算では総収入の25%が賦課金です。後は補助金、奨励金で賄っている。

問 昭和63年に三原郡農業共済事務組合として以降改定していない。

問 賦課金の率の改定は。

問 昭和63年に三原郡農業共済事務組合として以降改定していない。

新政クラブ 中村三千雄 議員



二期目の市長の政治姿勢を問う

問 今回の選挙結果をどのように受けとめているか。

市長 投票率が、私の期待していたよりも予想に反して低かった。市民の関心が薄かったのではないかと思う。

問 市民意識の一体化を聞く。

市長 一期目から私の大きな願いであり、取り組んできたが、まだ完全だとは思っておりません。南あわじ市に住んで、自分たちが子や孫にこの地域を継続し私たちがこの苦しい時期に共に汗をかき、意識の一体化に向けての姿勢で取り組んでいきたい。

問 庁舎等公共施設整備に係る答申が出されまし

たが、今後、どのような順序で進めていくのかお聞かせ願いたい。

市長 特に市民の関心な

り、行政にかかわる私たちとしては庁舎の問題が大きいと思います。検討

委員会も2年4か月かけて市民を代表する20人で

構成されて、最終答申をいただいたところですので、答申は尊重してい

たいと思います。議員や市民の皆さん方に機会あ

ることに内容を説明申し上げ、積極的に十分説明

責任を果たし、時にはご意見を伺いながら進めて

まいりたいと考えております。また、市民サービ

スの低下を当然避けなければなりません。小学校

単位、そこに潮美台も入れた中でコミュニティー

の場づくりとして公民館を活用する市民交流セン

ター等によりサービスの低下に陥らないための手

法をとっていきたい。

問 財政健全化計画に基

づき平成23年度は収支のバランスの均衡を図ると明言されておりませんが、確信されますかお答え願

いたい。

市長 19年度末、起債残

も20年度末の段階で15億

ぐらい減らし、21年度末

は一般会計で約30億減が

予想されますので23年予

算で収支均衡の数値が出て

いますので、確信して

おります。

問 職員の資質の向上と

職員教育の徹底を図れ。

市長 行政執行における

職員の役割は非常に大き

いと思います。公務員としての立場、倫理観や使命感を持って市民に信頼

暁クラブ 森上 祐治 議員



問 市長は施政方針の結語で三洋電機の創始者井植歳男氏の言葉を引用された。その真意は？

市長 経営の原点は人である、という考え方に強く共鳴した。職員は立派に育ってほしいし、信頼関係を深めていきたい。

それで市民のための市役所の仕事ができると考えている。

問 庁舎等検討委員会の答申では建設費用を20億円と見込んでいるが？

市長公室長 淡路市役所のような庁舎をイメージし可能だと判断されたと解釈している。

問 合併特例債といって

も借金であり、市の財政

指標にいろいろ影響が出てくるのでは？

市長公室長 財政健全化計画の中に合併特例債事業として見込んでいる。

問 分庁舎が廃止されれば、地域は寂れていくのではないか？

市長公室長 地域全体の

活性化を図る観点から、

21か所の市民交流センターが提案されているんだと

解釈している。

問 透析患者の治療費負担で、県下でも先進的な

施策を講じている市町があると思うが？

健康福祉部長 少なくとも

も島内3市が共同歩調をとる必要があると考えて

いる。慎重に連携しながら取り組んでいきたい。

問 麻疹の予防接種は県

下で本市だけが学校での

集団接種だと聞か？

健康福祉部長 国は95%以上の接種率を目標としている。保護者の負担軽減にもなり、97・7%達成できた。

問 危機管理等问题はな

森上 祐治 議員

合わせのもと、21年度も実施していきたい。

問 島内、市内の若者の

雇用対策について

産業振興部長 行政が主

導して昨年6月、「淡路地域人材確保協議会」を設

置、効果を上げている。

本市では20名の臨時職員の雇用を考えている。

問 小学校にもスクール

カウンセラーのニーズが高まっていると思わな

か？

教育部長 その必要性を

我々も感じている。県にも要望している。

健康福祉部長 養護の先

生から様々な要望をいただいている。入念な打ち





選挙投票所について

問 先般行われた市長選挙の結果において、有権者より投票所のあり方に不満、不評になっているが。

選挙管理委員会委員長

平成の合併により、地区間のアンバランスが判明し、自治会を中心に、約2年をかけ、45か所から29か所に見直しをした。結果、投票率も低く、分析をし、一票の重さ、啓発も踏まえ検討していきたい。

耕作放棄地について

問 市内には耕作放棄地が約250ヘクタールあるようだが現況はどうか。専門課を作って対処してはどうか。

農業振興部長

理由として、生産性が低い、高齢化、多忙、後継者不足があげられる。復元には手間がかかる、市としてはほ場整備の推進、新年度で農地バンクの設立をし、農地の貸借事業に取り組んでいきたい。農地の保全については個人が管理をしていただくのが原則である。

市立保育所・幼稚園について

幼稚園について

問 将来、臨時職員・パート職員の正規職員への道が開かれているのか？希望者に指定管理による職場の提供は？

市長

幼保一元化の中で時間をかけて可能なもの

から順次取り組んでまいりたい。

総務部長

当面は臨時・パートの方たちがいなければ運営できないので、検討委員会での検討の結果、新年度より新たな制度で運用していきたい。

まちづくり推進について

合併により市民サービス

問 合併により市民サービスの格差が表面化し、旧来の支所、連絡所のある方を、形を変えて復活すべきと思うが。また、公民館の指定管理制度は？

市長

これからは行政を中心としたサービスに限界があり、市民参画と協働のまちづくり、すなわち地域協働、官民協働による地域行政が望ましいと思われる。

問 施政方針における、「集大成の基礎」市長の目指す「南あわじ市の将来像」とは何か。

市長 行政にかかわって22年、南あわじ市の将来のために全力を尽くすことである。また、子や孫が本当に南あわじ市を誇れる、自分のふるさとと思えるような将来像を作り上げていきたい。

議会と執行部すなわち二元代表制についての市長の認識は。

市長 議会と執行部がお互いにその権限を均衡させるためにできあがってきたと考えている。共に住民の福祉という共通の大目標を目指して、直接住民に対して責任を負う制度という風に思っている。

行財政改革と景気対策のどちらを優先しているか。

市長 行財政改革と景気対策のどちらを優先しているか。

くつもりか。

財務部長

軸足は財政の健全化であるが、集中と選択の中で、出来る限り景気対策にも取り組んでいきたい。

行政のスリム化を前提とした部、課の統廃合について、次長職の廃止、兼任の考え方は。

総務部長 少ない人数の課の設置は控えると共に、関連する部署を統合し、新たな行政課題にも横断的に、かつ柔軟に対応できるように体制を構築していきたい。次長職の廃止、課長兼任については、平成22年4月以降、順次実施していきたい。管理職手当の削減は続けていく。

職員の士気向上を高めるための提案制度の状況は。

市長公室長 今年度は6件あった。提案者が自身の考えを自由に発言できるように、環境面の適切な確保等を図っていきたい。

問 弱者対策について。

健康福祉部長

重度身体障害者の介護手当は、引き続き支給していく。生活保護者の車所有については緩和の方向で取り組んでいる。

農商工連携について。

産業振興部長

国の認定にこだわることなく、積極的に進めていきたい。

玉葱残さ処理と減反施策について。

農業振興部長 9月の補正予算で、処理費がトン当たり1万5000円に収まりつつある。今議会での補正により、各施設での脱水機の増設、改修により処理能力がアップすると考えている。

減反については昨年とほとんど変わっていないが、新たな助成制度が出てきている。県からきた数字を守り、これ以上の米価の低下を防ぎたいと考えている。

減反については昨年とほとんど変わっていないが、新たな助成制度が出てきている。県からきた数字を守り、これ以上の米価の低下を防ぎたいと考えている。

東方クラブ

蓮池 洋美 議員



至誠クラブ 小島 一 議員

青松クラブ 川上 命 議員



一連の市町村合併が始まって10年、合併した自治体、また断念した自治体にもさまざまな思いがあります。合併した市長としてこの4年間を振り返っての思いをお聞きたいします。

市長の最大の目標である財政健全化の取り組みについてお尋ねします。

市長 4つの歴史とか、風土、人の意識とか、違うまちが一つになったわけですから、当初は大変苦慮いたしました。しかし徐々に歴史的な背景なり、地域性なりも、合併という大きな目標に向かって、理解をしていただけるようになってきたところでございます。財政については財政健全化計画及び行財政改革実施計画、これに基づきまして、6

つほどの中身を進めております。定員の管理計画、公債費の軽減、公債費比率の改善、またそのためには繰上償還等、起債の抑制、住民サービス、指定管理者制度、成果が出てきております。健全化をしながら、経済対策も取り組んでいきたいと思っております。

都市計画部長 津井橋の周辺、確かに危険な部分があると思えます。県の方としては、今後も地元の調整を図って、当局面部改良で対応していくとっております。河川整備計画の関係ですが、おおむね30年の事業計画になっております。関連施設の整備を県において実施していく計画になっております。

産業振興部長 農商工連携推進会議、これは農業団体、商工業の団体、漁業団体、行政、各種団体が集まりまして、農商工連携をすすめていこうというスタンスをとりました。

青松クラブの質問のなかで丸山バイパス、丸山の避難道路、津井伊加利線整備については、すでに事業展開がされております、県道阿万福良湊線、この道路については、地域活性化のためにも、やり遂げなければいけない

その他おまな質問事項
陸の港西淡、防災タワー周辺の整備充実について。志知高校の跡地問題。小学校（西淡志知、三原志知）の統合について。公民館組織、その他市民に対する補助金について。

おのころ 出田 裕重 議員



市政5年。

「自立」への挑戦とは？

市長 一期目は事業に着手することに重きを置いた。二期目はより一層市民の一体化、地域の活性化、強固な行財政の基盤づくり」を目指す。

国の定額給付金事業をどう思うか？

市長 時期的にもう少し早く実行すべきではなかったかと思う。

永続的な雇用対策を

市内の基幹産業と有能な人材をつなぐ「職業紹介窓口」の設置を。

産業振興部長 商工会と連携し、よりきめ細かな求人情報の提供ができるよう努めたい。

市民参加の政策提言

市民・グループ等から個々に政策を募集してはどうか？

市長公室長 今年度は「地域活性化委員会」を立ち上げ、市民からの政策提案が行なわれるものと期待している。

感染症対策は？

健康福祉部長 新型インフルエンザにおいては早急に県の計画に沿ったマニュアル策定をする。今後

も特に高齢者・小児を対象とした対策を広報等で周知したい。

緊急地震速報の

速報の導入は？

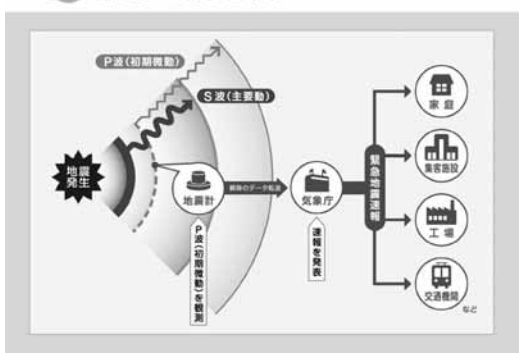
総務部長 C A T V の告知

内水対策の

一層の推進

都市整備部長 国・県の補助事業で取り組むのが効率よく経費も安くつく。予算・用地の見通しが立った上で土地改良事業等とあわせて早急に進めたい。

緊急地震速報のしくみ



雇用対策について

問 若者の雇用状況が深刻です。市は緊急雇用対策として臨時募集していますが、さらに拡大をし、雇用の継続はどうか。

市長 緊急雇用は、国の制度で市としてどうこうすることはできない。

問 障害者を対象にした募集に働きたい、社会参加もしていきたいと多くの希望者があり引き続き募集をすべきでないか。

総務部長 優秀な方が多かった。今後検討していく。

住宅リフォーム制度の

実施を

問 仕事おこしとして市内の木工、左官、工務店を活用して住宅をリフォームした場合、助成する制度を実施してはどうか。

都市整備部長 今後、研

究をしていく。

子供の医療費助成の

拡大を

問 子どもの医療費助成の年齢を拡大し、小学校卒業までしてはどうか。

健康福祉部長 難しい状況である。22年度県が助成制度の拡大を予定しているのを見極めたい。



庁舎のあり方について

問 庁舎等について答申は「新庁舎建設後、分庁舎、出張所、連絡所、支所を廃止し、市民サービスは地区公民館を利用して市民サービスの業務の補完機能（市民交流センター）を行うというシステムを考えました」。これを受け市長は「議会や市

民に説明のうえ、迅速に具体化してまいります」との姿勢ですが、市民への説明責任と市民の合意に向けた取り組みについてはどう進めるのか。

市長公室長 機会があるごとに説明し、納得度を高めていきたい。意見も伺う。

問 庁舎の問題は、まちづくりをどう進めていくか大きな問題です。まちづくりは、市民の声を反映する方法として住民投票が考えられるがどうか。

市長 いかがなものかなと思う。

平和施策の取り組みを

問 憲法9条の戦争放棄、戦力を持たない、平和憲法が世界で注目されていますが、「非核平和都市宣言」にふさわしい標柱の設置や平和展を取り組んではどうか。

総務部長 懸垂幕など検討。
教育部長 検討材料にしたい。

雇用施策について

問 農業・商工でのグリーンツーリズムをどのように推進するのか。

市長 海ホテル・山ホテルを観光資源にする。

問 酪農でどのように取り組むのか。

農業振興部長 市民農園や農村ボランティアを促進、空家を利用し民宿など、NPO支援。農業就業者は、平成15年1万5637人から平成19年には1万2461人に減少。認定農業者準ずる者にリース事業あり、(この事業は農機具販売会社窓口対応)

問 西淡三原インター出入り口で産地直売できないか。

市長公室長 民間の力で土日祝、薔公園内で産直販売実施。

問 介護・子育てでの雇

用対策はどうなっているか。ファミリーサポートクラブ・子育て広場など利用状況。

視覚障害者に

文書読み上げ機

窓口設置望む

文書読み上げ機については至急福祉窓口にて1台設置する。日常生活用具指定になっているので1割負担で購入出来る。負担額は9900円。



▲文書読み上げ機

南あわじ市日本共産党議員団

吉田 良子 議員

公明党 武田 昌起 議員



東方クラブ 楠 和廣 議員

淡路水道事業の一元化について

一元化について

問 具体的進捗について
上下水道部長 現段階で調整済事項等出てきておりません。高料金対策補助金3市合計6億5400万円。

問 統合による水道課職員の処遇身分について、職員数は？

上下水道部長 基本的には、水道事業の職員が企業庁の要請によって広域水道企業団の方に派遣されるスタイルです。

問 事業収益有収率向上の取り組みが料金の低減化に反映される取り組みについて。

上下水道部長 漏水調査修繕など投資効果を検討しながら効率的な対応をして参ります。



と聞いています。建設委員会で協議して進めて参ります。

市内各産業の振興などについて

問 今回の選挙戦によって市内各産業の現状をどのように感じ認識されたか。

市長 南あわじ市の大きな基幹産業の瓦も本当に厳しい状況にびっくりしました。農業漁業につきましても厳しい状況を実感しました。

問 人形会館建設では古き良き日本風瓦葺きの会館建設に期待している。建設計画についてどうか。

教育部長 双方とも歴史あるもので設計者につきましても十分熟知しており、瓦に係る製品も



南あわじ市 日本共産党議員団 蛭子 智彦 議員

市長退職金について

問 市長はすでに退職金を受け取りになられましたか。

市長 頂戴をいたしました。

問 1877万円、受け取りになったとのこと。この手当は、個人の掛け金は必要でしょうか。

総務部長 個人の掛け金はありません。市の負担は約300万円です。

問 財政厳しい中、次の4年間でもう一度受け取るかどうか、一考を求めます。

旧西淡、阿那賀、伊加利、丸山地域でも住民票を受け取れるように

問 阿那賀、伊加利の高齢化率が進んでいます。丸山も同様です。これらの地区でも、住民票が受

け取れるような制度を整えてはどうですか。

市長公室長 新庁舎ができてからは考えていません。事前にそういった体制が必要と考えています。

問 一刻も早くやってほしい。それが住民の願いです。

辰美中学進学者の急減について

問 新年度の辰美中学入学者が、急減しています。原因と対応を聞かせていただきたい。

教育部長 いろいろな要素があります。その中にはクラブの問題もあります。

問 対策の難しさもありますが、拠点校部活方式を採用など、工夫していただきたい。また、せい太くんバスのフリー乗降制を復活していただきたい。

市長公室次長 フリー乗降制については、4月から採用できるよう考えています。



東方クラブ 北村 利夫 議員

施政方針について

問 人口減少率は鈍化しているが、満足する数字ではないと、では、満足する数字は施策目標は。

市長公室長 10年後に5万人を下回らないまちを目標に。

問 県の推計50年後には、市の人口が半減するとのこと、どう思うか。

市長公室長 正直驚きました。約20年後には、高齢化率が40%を越えると、今後の施策、まちづくり

に支障がでるのでは。
市長公室長 いろんな状況が想定されるが、影響は出てくると認識している。

問 新庁舎は、誰が望んでいるのか。
市長公室長 検討委員会

新庁舎は市民が望んでいるのか。

市長公室長 そういうこととです。
問 新庁舎は何のために必要ですか。

市長公室長 合併して一体化する必要と、今の財政状況で分庁舎を維持する体力がない。

問 選挙というよい機会があったのに、なぜ早く答申を出さなかったのか。

市長公室長 答申の時期を明示していなかった。

問 選挙というまととない機会を失したので、この件で住民投票も選択肢の一つと思うが、

市長 言われれば、そうかと思うが、住民投票は果たして皆んなが一から十までわかった中ではないけど、いろいろな形になるのではないかと思う。

各企業に対する運転資金利子補給制度の導入について

問 小規模事業所がほとんどである本市にとって、緊急景気対策として運転資金の利子補給制度導入は不可欠であると思いませんか、いかがでしょうか。

市長 現在経済が大変だということも私も良く認識しており、今、次長から検討するという話でございまして、多分担当部では中身を良く精査しての答弁だと思うので私はまだそれを見てみませんので中身を見て検討させていただきます。

パークゴルフ場建設について

問 私は観光の町南あわじ市にとって現状で欠けているのは観光リゾート



新政クラブ 阿部 計一 議員

地としての体験型スポーツ施設、つまり世代を超えて楽しめ、若さを感じさせるスマート感、力や体力技術の差を心配せず楽しめ、それでいて奥深さがあり、町内会、職場、グループなどで盛んに行われ、健康づくり、学校教育、リハビリなど医療分野でも注目されているパークゴルフ場建設はいかがですか。

市長 計画としては本当のところ今はございませぬ。実はサンライズで芝生の広場ができたんです、あれはサッカーくじの toto が財源です。最近の情報ではサッカーくじの剰余金が出だしたと伺っているのです、出来るだけ早い時期に一度協会の無理を承知でお願いに行くつもりです。 toto の場合、総事業費の4分の3の補助をいただけるので出来る限り実現に向け努力したいと思えます。

市長選挙について

問 対立候補者の出馬表明が告示3日前であった市長選挙。まず投票率が低かった点と、約8千票のいわゆる批判票、市長自身どのように総括されているのか。

市長 投票率は非常に低い感じを受けた。対立候補者の得票数ですが、私自身の思いはいろいろありますが、関係者の話によると選挙というのはああいふ結果になるんだと承って、私もそうかなと思っています。

問 施政方針演説あるいは市長答弁で集大成のつもりでやるといっているがどういう意味か。

市長 初代市長として関係者の理解を得て予定したものを順次進めてきた。もう少し路線をはっきりして次なる人にバトンを



暁クラブ 印部 久信 議員

つないでいきたい気持ちが集大成という表現になった。

投票所統廃合について

問 投票所が南淡・西淡を中心に45か所から29か所に統廃合された、なぜか。

選挙管理委員会書記長 小さい投票所において、投票管理者、立会人の人選に苦慮しているのも一因。

問 期日前投票、不在者投票施設、投票の時間延長が全て有権者の便宜を図り参政権を大事にしている。地区の自治会より要望があると聞か。

選挙管理委員会書記長 3月4日、福良自治会より従前の投票所の4か所に戻してほしいとの要望書が来ている。

問 選挙は投票所設置について問題点もあると思うが参政権の大切さを啓発してほしい。

コミュニティバス

運行について

問 地域交通会議でどのような意見が出たのか

市長公室次長 ①コミュニティ利用者へアンケート調査(運行して生活がどのようになら変わったか)②4月からせい太くんの路線について、現在バス停以外でも乗り降りできるフリー乗降の申請をしている。

③65歳以上の免許証を返納した方にフリーパス券20枚贈呈。④高校にいく直通バス・時刻改正

問 各ルートの幼稚園とか保育園児の絵を展示しては。運行経費、財源確保に広告を募集しては。

市長公室次長 広報南あわじで募集しています。絵は交通会議に諮ります。



青松クラブ 福原美千代 議員

地球温暖化防止・二酸化炭素削減の取り組みについて

問 放棄田、遊休田を利用して、バイオマス事業を考えたらどうか。ジャトロハは？

農業振興部次長 中山間の直接支払い事業区域、農地水、環境保全事業の区域は放棄田が一切なくする要件有。環境保全、景観形成の中で、菜の花とかヒマワリを植えたり取り組んでいる。ジャトロハも含め活用方法を考えていきたい。

子育て支援について

問 乳幼児の細菌性髄膜炎の発症抑制に効果があるヒブワクチン。この摂取には高額なお金がかかります。助成はできませんか。

健康福祉部長 医師会の方からも要望が出ている。



暁クラブ 登里 伸一 議員

津井に国の大規模施設の誘致を

たい。
市長公室長 地元との合意形成が前提だが、PFI・DBO方式等研究して働きかけていきたい。

風力発電による被害の対応を問う

丸山地区にある風力発電で、住民被害と土砂災害への恐怖が発生している。企業が不誠実で、協定書が結ばれていない地区も多い。市民の窮状に対し、市は指導・対応を強化し、安全と安心のためにもっと働いてもらいたい。

千人規模で生活費、物品調達等年間5億3千万円。職員と家族約4百人の生活費、社員90人の雇用、市には交付税、固定資産税、法人事業税、職員・社員の住民税が入る。市の金はいらず、国が土地を買い、社員が施設を建設、国が支払い民間協同で運営する。雇用・経済効果による地域の活性化、税収・人口増加にもなるので研究してもらい

人事案件

(敬称略)

○副市長の選任同意

川野 四朗

○兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙当選者
川野 四朗

○監査委員の選任同意

小林 健司

○選挙管理委員および同補充員の選挙
選挙管理委員当選者
野上 昭弼 木下 弘彦
宮地 恒雄 平野 利次

○教育委員会委員の任命同意

長江 和幸
中田 光子

選挙管理委員補充員当選者
山田 泰生 田中 敏裕

○農業共済

損害評価委員の選任同意

糸川 貴文	長谷 敏夫
伊吹 均	柏木 知二
菊川 秋夫	三原 健作
素川 勝正	大塚 正
山形 博昭	亀岡 博
高野 成久	北条 憲造
吉田 昌司	青木 茂
藤原 久夫	村上 一廣
居神 爲雄	平野 睦緒
瀧川 静馬	阿部 勝海
渦古 章二	岡本 和幸

政治倫理審査会

結果報告

市民から、議会議員政治倫理条例に違反の疑いがあるとして、調査請求がありました。

これを受け、南あわじ市政治倫理審査会（道上明会長）で、審査しましたので、結果を報告します。

■出田裕重議員に関する調査請求について

南あわじ市議会議員政治倫理条例第3条第1項各号に違反しない。
(2月20日報告)

■森田宏昭議員に対する調査請求について

「南あわじ市議会議員政治倫理条例第12条に違反する事実は確認できない。
(2月20日報告)

第23回 市議会臨時会



▲定額給付金の現金給付会場（3月28日、福良）

第23回南あわじ市議会臨時会が2月18日に行われました。この臨時会は主に、定額給付金の現金支給を行い、同時に「元氣だそう！商い応援振興券」の発行を準備するための補正予算を審議することを目的に招集されました。定額給付金事業費8億5745万円、振興券発行事業4億100万円などが計上された補正予算に修正案が提出されましたが、修正案は少数否決、原案可決となりました。

定額給付金の現金給付、 地域振興券の販売を審議

修正動議（否決）

「定額給付金は現金給付を見直し、慎重に」

質疑応答

問 今回の修正案の趣旨は何ですか。

ただきたいということです。

答 端的に言って、管理職手当、警備会社への委託料、現金封筒詰め費用などを

問 支給方法や振興券の使える店舗でも執行部から前向きな答えをいただいているので、信用して、見守る方がいいのでは。

答 まだ国会で審議中の点もあり、順次支給の体制を整えてい

問 まだ国会で審議中の点もあり、順次支給の体制を整えてい

ついで疑問を持つ議員から、修正案が出されましたが、少数否決、原案可決となりました。

修正案の 提案理由

提案理由

定額給付金については、安全迅速な支給が大事ですが、法案可決の日程が流動的である上に、現金給付に伴う事務作業、安全確保の手だても大変です。この方法がベストであるのか、慎重な検討が必要でないでしょうか。

問 給付ということに反対なのかどうか。

答 給付に反対なのではなく、支給方法や、振興券の扱いについても固めていただき、全会一致で行って

問 給付に反対なのではなく、支給方法や、振興券の扱いについても固めていただき、全会一致で行って

必要でないでしょうか。

議会閉会中も各常任委員会では、所管事務調査を行っています。
12月定例会以降に行われた、1月・2月の所管事務調査の結果を報告します。

総務常任委員会

- 【1月】1月21日の調査事項は次のとおりでした。
- コミュニティバスの運営状況について
 - 緊急雇用対策について
 - 定額給付金事業について
 - 指定管理者制度について
 - 神戸寮の今後について
 - 入札結果の公表、最低制限価格のあり方、電子入札について
 - 投票所の運営について
 - 防災無線について
 - 消防団のあり方について
 - 自主防災組織のあり方について
 - 2月25日の調査事項は次のとおりでした。
 - 投票区の削減結果について
 - 投票所の人員について
 - 公職選挙法について
 - 庁舎等公共施設整備検討委員会について
 - 定額給付金事業の現金給付について
 - 商い振興券の対象店舗について
 - 20年度の退職者について
 - 地域活性化・生活対策臨時交付金について
 - 災害時要援護者について

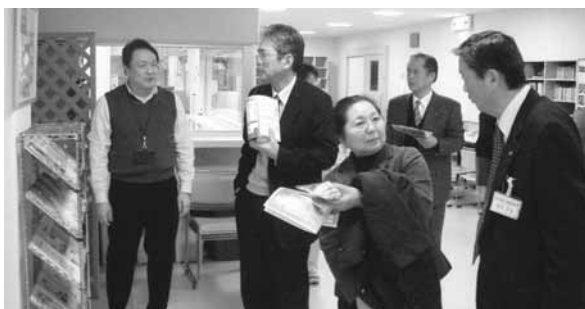
文教厚生常任委員会

- 【1月】1月22日の調査事項は次のとおりでした。
- 辰美校区における、校区外への進学状況と部活動について
 - 御原中学校、辰美中学校の統合について
 - 小中一環教育について
 - 税の徴収について
 - 介護認定、介護保険について
 - リサイクルセンターについて
 - 小児救急医療、乳児検診について
 - 健康づくりについて
 - 2月19日は、管内視察を行いました。視察先は次のとおりでした。



▶阿那賀地区公民館

- リサイクルセンター
 - 大鳴門記念館(人形館)
 - 産業廃棄物最終処分場
 - 阿那賀地区公民館
 - さんゆう館
 - きらら、ウインズ
- 視察先では、施設の現状、利用状況等を見聞き、また管理者から聞き取り調査を行い、今後の課題点、課題等について確認しました。



▶障害者福祉施設「きらら」



▲南あわじ市神戸寮(長田区)

産業建設常任委員会

【1月】 1月16日の調査事項は次のとおりでした。

- バイオマス炭化施設試験結果の中間報告について
- 淡路瓦のジャパンブランド事業について
- 酪農の現状と市の対応等について
- ほ場整備事業について
- 下水道事業中期経営計画について
- 指定管理について
- 備について
- 耕作放棄田対策について
- 農地・水・環境保全事業について
- 水仙郷の指定管理について
- 瓦工業組合の緊急支援要望について
- 「水産まつり」及び「朝市」について
- 減反政策と自給率について

【2月】 2月10日の調査事項は次のとおりでした。

- バイオマス炭化施設について
- 三原川水系河川整備事業での排水機調整



▲水産まつりで稚魚を放流

インターネット

市議会中継

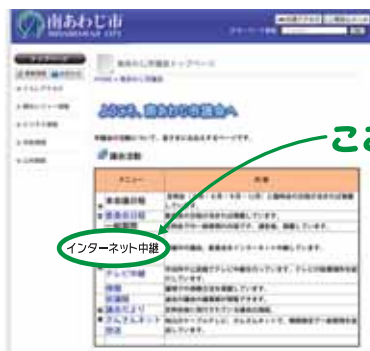
①南あわじ市ホームページを開く

②メニューの『議会情報』をクリック



ここをクリック!!

③『インターネット中継』をクリック



ここをクリック!!

④アドレスをクリック



ここをクリック!!



本会議場

事務局職員の異動

- 退職者(3月31日付)
 - 山口恒利(事務局次長)
 - 転出者(4月1日付)
 - 濟藤貴志(事務局主任)
 - 配属先 農業振興部農林振興課主査
- 新たに4月1日付で、次の職員が事務局へ配属されています。
 - () 内は旧職名

- 前田和義 次長(教育委員会青少年育成センター)所長)
 - 橋詰恭子 庶務係長(教育委員会学校教育課係長)
 - 川添卓也 主査(総務部情報課主査)
- 今後共、よろしくお願ひします。

議会広報広聴特別委員の交代

2月13日に原口育大委員が退任、代わって武田昌起議員が就任しました。

議会改革特別委員会の活動報告

地方分権社会にあつて、二元代表の一翼を担う地方議会のあり方が問われています。

住民目線での議会運営をより自主的、効率的、積極的に進めるため、議会運営の見直し、市民参加、議員の政策形成能力向上の「議会基本条例」などについて調査研究を行っています。

これまでも議会運営委員会・議会広報広聴特別委員会・議員定数等調査特別委員会等でさまざまな先進事例等の取り組みを研究し、随時条例改正等を行なつてまいりましたが、今回の特別委員会設置は、これまでの経過を踏まえた上でさらなる議会の改革を目指しています。

ここではこれまでの取り組み状況と「9月の最終まとめ」に向けて
 た今後のスケジュールをご紹介します。

鳴門市議会を

視察

検討項目の意見集約の意味も込め、4月7日に先進地である鳴門市議会を訪れ、正副議長・議会事務局・議会改革プロジェクトリーダーと広く意見交換を行いました。

鳴門市議会は3年前の自主解散を機に市民により必要とされる議会を目指し今年12月に基本条例を制定すべく協議を進めており、積極的に市民の意見聴取等を行なっています。

▲鳴門市議会で意見交換



■議会改革のスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
① 議会運営	提案、現状の共通理解	→ 検討	→	→	→	最終まとめ 9月定例会で 委員会調査報告
② 市民参加		提案、現状の共通理解	→	検討	→	
③ その他				提案、現状の共通理解	→ 検討	

① 議会運営

- 説明員の出席要請のあり方

- 正副議長・委員長の任期

- 行政視察等の経費のあり方

- 特別委員会設置のあり方

② 市民参加

- 専門的知見の活用

- 議会報告会のあり方

- 議長交際費の公開のあり方

- 政務調査費の公開のあり方

- 議会広報のあり方
- インターネット録画配信

③ その他

- 議員間の政策討議

- 費用弁償のあり方
- 議員定数等のあり方

- 専決処分のあるあり方

- 執行部への反問権の付与

- 議会基本条例制定に向けて

議会広報広聴特別委員会

議会広報広聴特別委員会では、2月5日・6日の2日間にかけて、滋賀県甲賀市、三重県伊賀市へ視察研修を行いました。

今回の視察の目的は、議会広報をもっとわかりやすく、理解されやすいものにするにはどうすればよいか、また同時に市民に開かれた議会づくりのために、広報はどうあるべきかなどをより深くつかむことを目的に行いました。



▲甲賀市を視察

■近畿広報コンクール 優良賞の甲賀市

甲賀市の議会広報は、平成19年に第20回近畿市町村広報誌コンクールで「優良賞」を受賞しており、全国から視察がよく訪れています。「よく読んでもらえる」

ように、甲賀市議会では企画を大事にしています。「議長と市長の新春対談」「議長と他市議会議長との対談」「会派代表者による座談会」「議会改革特別委員長へのインタビュー」など、目を引く、読み応えのある特集を目指しています。

また、表紙写真では写真展に展示してもよいぐらいのレベルの高い写真を掲載し、市民

から好評とのこと。段組6段で、読みやすいものになっています。

■「開かれた議会」全国1位の伊賀市

伊賀市では、議案に対する議員の賛成反対を報道することに力を入れていきます。議案に対して、賛成、反対の資料を市民に知らせる

ことにより、市民が直接議員に要求や意見を寄せるようになり、市民に開かれた議会づくりに役立っているとのことでした。その甲斐あって「開かれた議会」全国一位の表彰を受けています。議会報告、出前講座など、議会が行っている努力全体が評価されてのものです。こうした視察の成果を、今後広報作りと議

会改革に大いに役立っていきたくと考えています。



▲伊賀市で意見交換

神代小学校6年生が市議会を見学

1月28日に、神代小学校6年生の皆さんが南あわじ市議会を見学に訪れました。

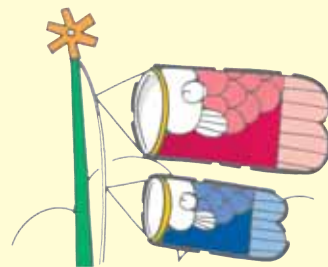
委員会や議場を見学した後、児童が議席へ座り、市議会の仕組みや議会の活動についての簡単な説明を受け、市議会への疑問点などについて質問がありました。



▲写真(上) マイクを使って模擬質問
(下) 神代小6年生の皆さん



暮らし 僕のまち 私のふるさと



僕たちの阿万

阿万小学校 6年
岩崎 嵩平



僕が住んでいるこの阿万には、す

ごい所がたくさんあります。まず、桜が咲くころにある春祭りです。祭りでは、15台のだんじりが八幡宮に

緑豊かな南あわじ市に

灘小学校 5年
木下 みづき



私が、好きなこの南あわじ市には、

有名な野菜があります。それは、たまねぎです。私は、たまねぎが小さいころから大好きです。また、たまね

勢ぞろいします。その集まった風景は美しく、実にはく力があります。また、各地区が唄うだんじり唄の声が大きくて、すごいです。僕はそんな祭りが大好きです。

そして、夏の海水浴でにぎわった西町の海水浴場の浜辺に、ウミガメが卵を生みに来ました。それと、夜の海で光る海ホタルです。



▲ 亀岡八幡宮(阿万)の春まつり

こんなすごい海がずっとあったらいいと思います。これからもこのすごい、すばらしい阿万を大切にしていきたいと思います。

ルです。海ホタルは、きれいな海にしかないそうです。僕はウミガメが来たり、海ホタルが来たりするほど海はきれいだと思いました。

ぎのキャラクター「さんちゃん」もかわいいので気に入っています。

私は、サンプルで水泳を習っているので、週に一度は三原に行きます。三原は、田や畑がたくさんあってとても美しいです。そして、たまねぎの一大産地であることも聞きました。

私の住んでいる灘には、自然が多いです。灘小学校は、花だんやプランターで

花を育てていて、昨年表彰されたほど美しい学校です。私も学級園で菊を育てています。今年は、大菊にも挑戦するそうなので、とても楽しみにしています。だから、昨年より、もっとたくさんのお花で学校を美しくしたいと思っています。

南あわじ市も私の学校のように、花いっぱい、緑いっぱい、美しいまちになってもらいたいと思います。

編集後記

100年に一度と言われる世界的な大不況!この大不況をどう克服するのか。不況に直面して、ただ困ったと右往左往していかないか。不況こそ改善、発展へのチャンスであると考え、前向きな発想から新たな道も開けてくる。そんな時WBCでの侍ジャパンのV2。沈んでいた日本人たちの心にどんなにか夢と勇気と感動を与えられたことか。ともすれば現実の厳しさに流されて判断を誤りやすい不況時にこそ改めて原点に返り、基本の方針に照らして進むべき道を見定めることが大切である。

そこから正しい判断も生まれ、勇気と力が湧いてくるのである。
(市川)

